

【東京の観光振興を考える有識者会議(第1回)】

～ 宿泊産業の現状 ～

2016年2月16日(火)

立教大学 観光学部
特任教授 玉井和博

日本の宿泊産業(ホテル・旅館)概要

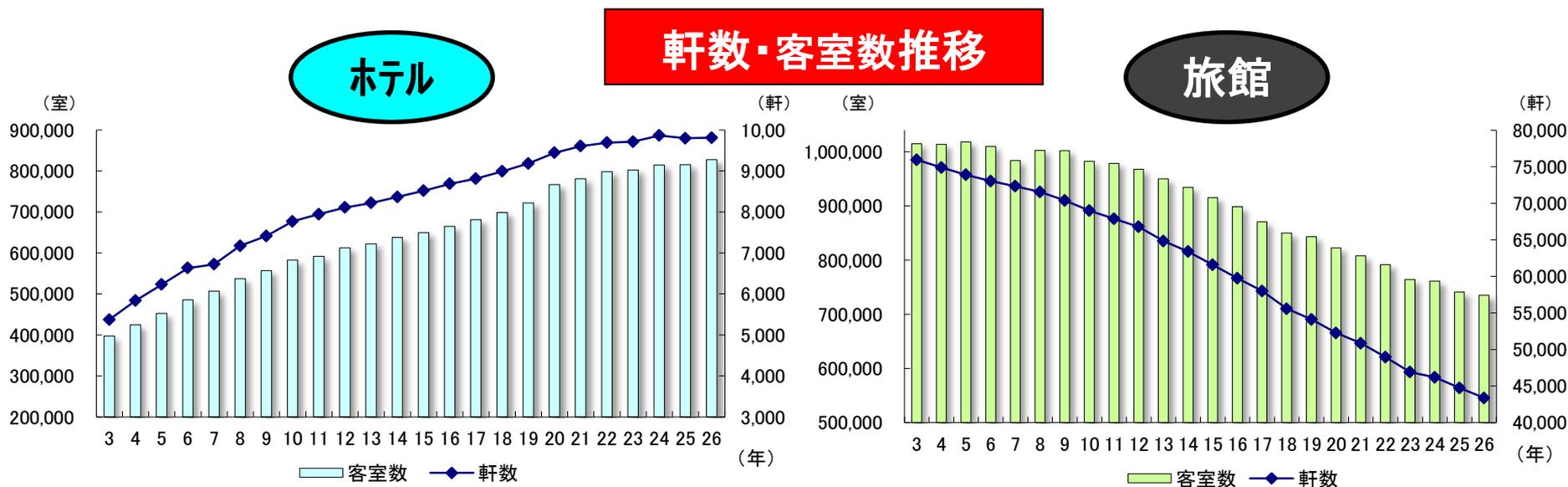
1. 宿泊施設数: **79,519** 施設 (2014年3月現在)

1. ホテル: 9,809 (客室数 827,211)
2. 旅館: 43,363 (客室数 735,271)
3. 簡易宿所: 25,560
4. 下宿: 787

2. 国際観光ホテル・旅館数:登録数: **2,559**施設 (2015年6月末現在)

1. 登録ホテル: 977
2. 登録旅館:1,582

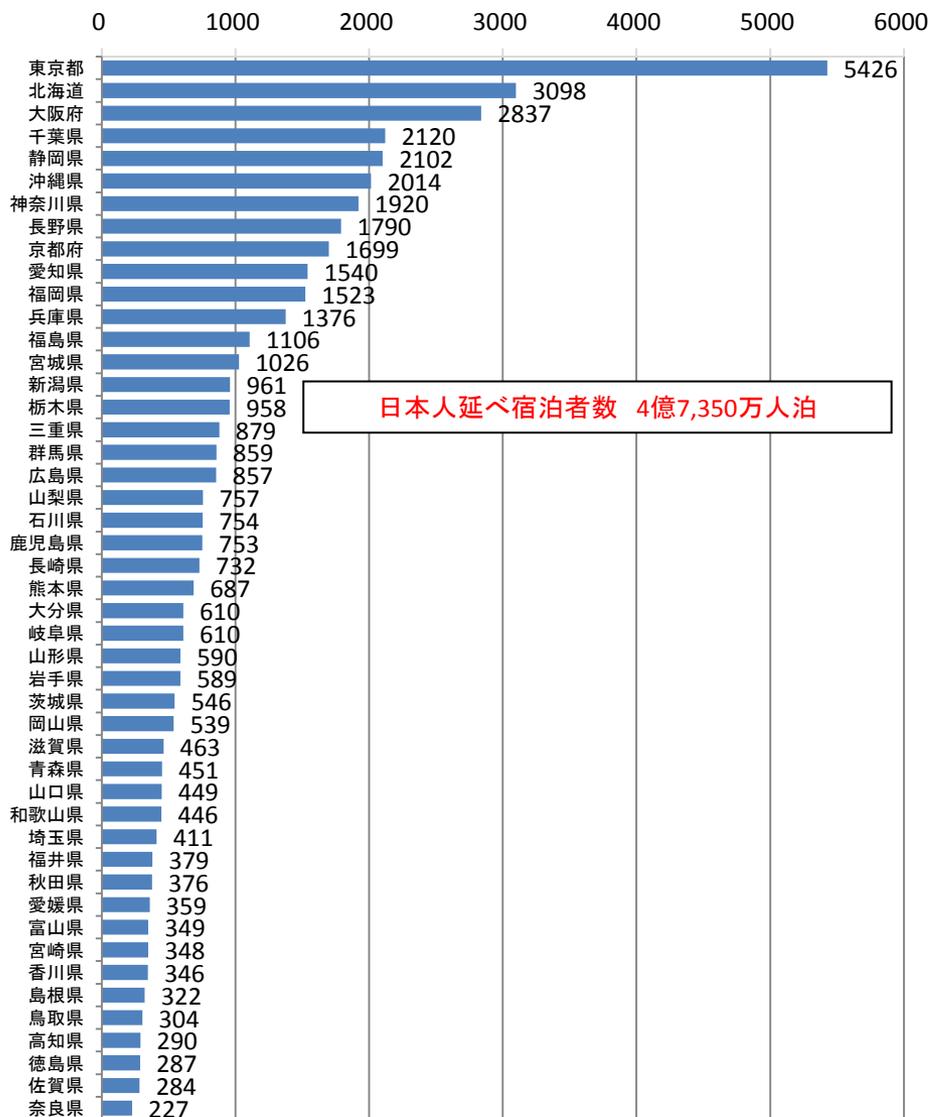
3. 市場規模: **2.84**兆円 (2013年)



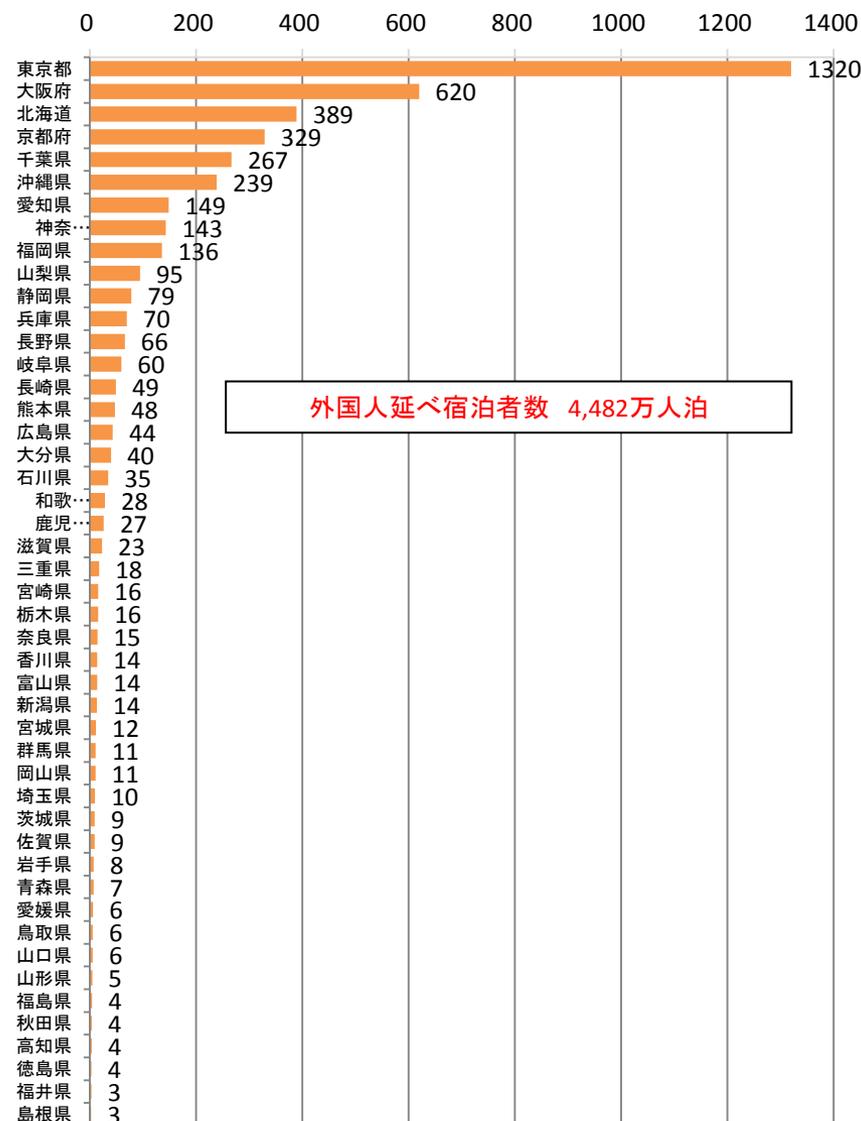
2014年都道府県別日本人・外国人延べ宿泊者数

(単位:万人泊)

都道府県別 日本人延べ宿泊者数



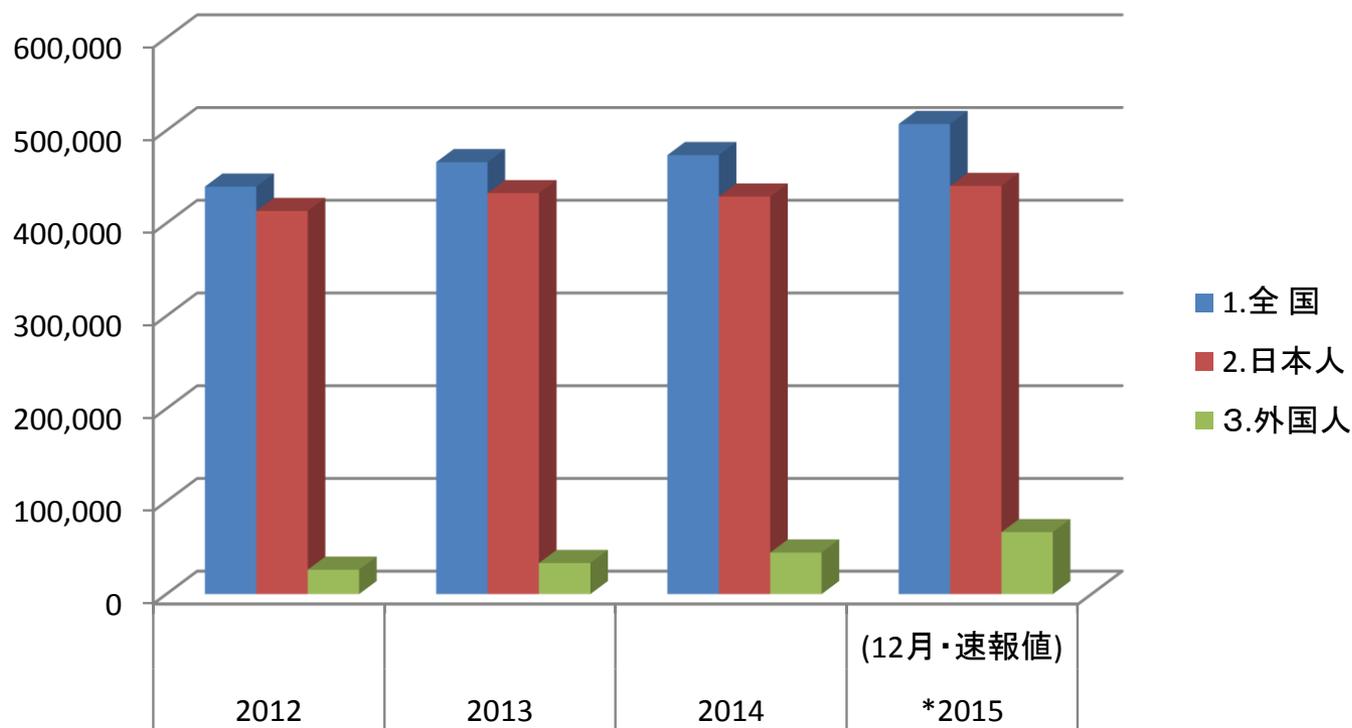
都道府県別 外国人延べ宿泊者数



《 年次別述べ宿泊者数推移表 》

〔単位；千人泊〕

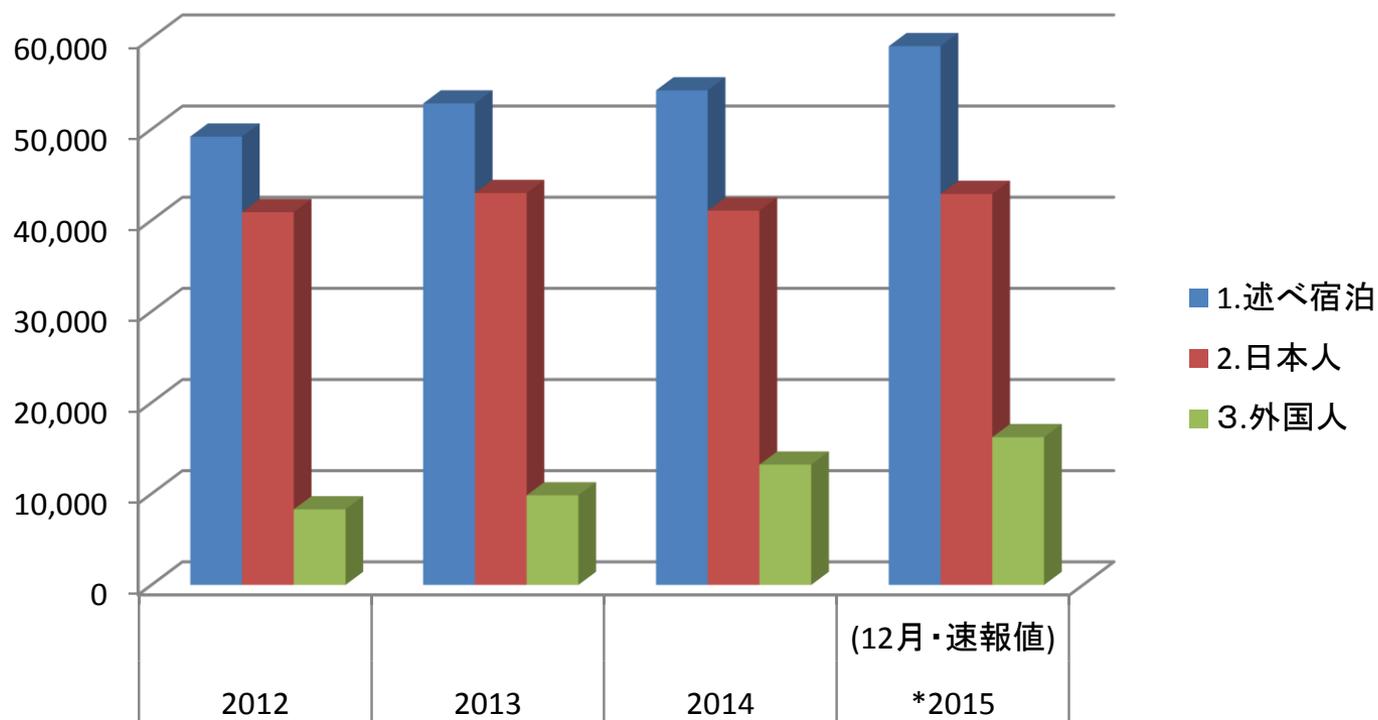
年次 区分	2012	2013	2014	*2015 (12月・速報値)	対2012比
1.全国	439,500	465,900	473,500	507,000	115.4%
2.日本人	413,200	432,400	428,700	440,200	106.5%
3.外国人	26,300	33,500	44,800	66,800	254.0%
*外国人比	<i>6.0%</i>	<i>7.2%</i>	<i>9.5%</i>	<i>13.2%</i>	+7.2p



《 東京都年次別述べ宿泊者数推移表 》

[単位:千人泊]

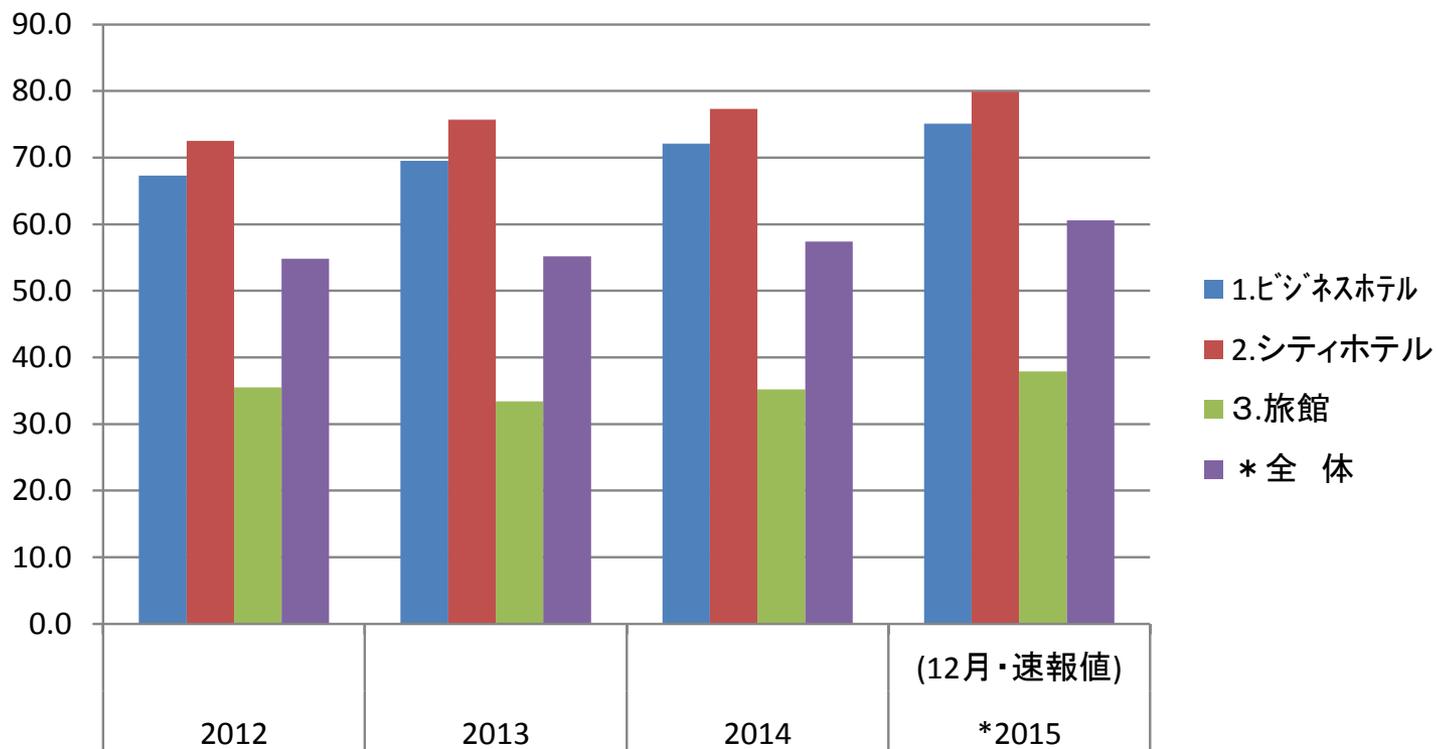
区分 \ 年次	2012	2013	2014	*2015 (12月・速報値)	対2012比
1.述べ宿泊	49,190	52,820	54,260	59,110	120.2%
2.日本人	40,900	42,990	41,060	42,900	104.9%
3.外国人	8,290	9,830	13,200	16,210	195.5%
*外国人比	16.9%	18.6%	24.3%	27.4%	+10.5p



《 全国宿泊タイプ別客室稼働率推移表 》

[単位; %]

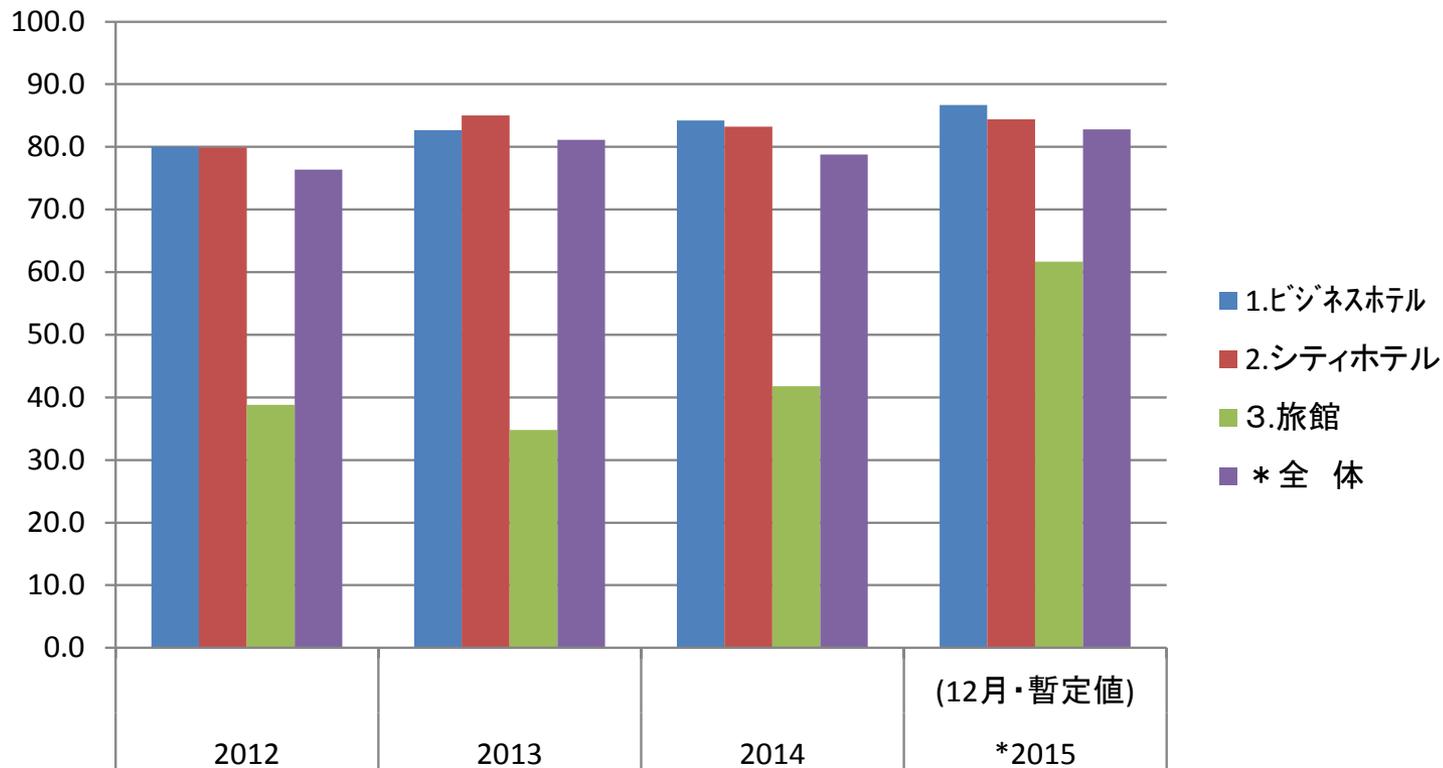
区分 \ 年次	2012	2013	2014	*2015 (12月・速報値)	対2012比較
1.ビジネスホテル	67.3	69.5	72.1	75.1	+7.8p
2.シティホテル	72.5	75.7	77.3	79.9	+7.4p
3.旅館	35.5	33.4	35.2	37.9	+2.4p
*全体	54.8	55.2	57.4	60.6	+5.8p



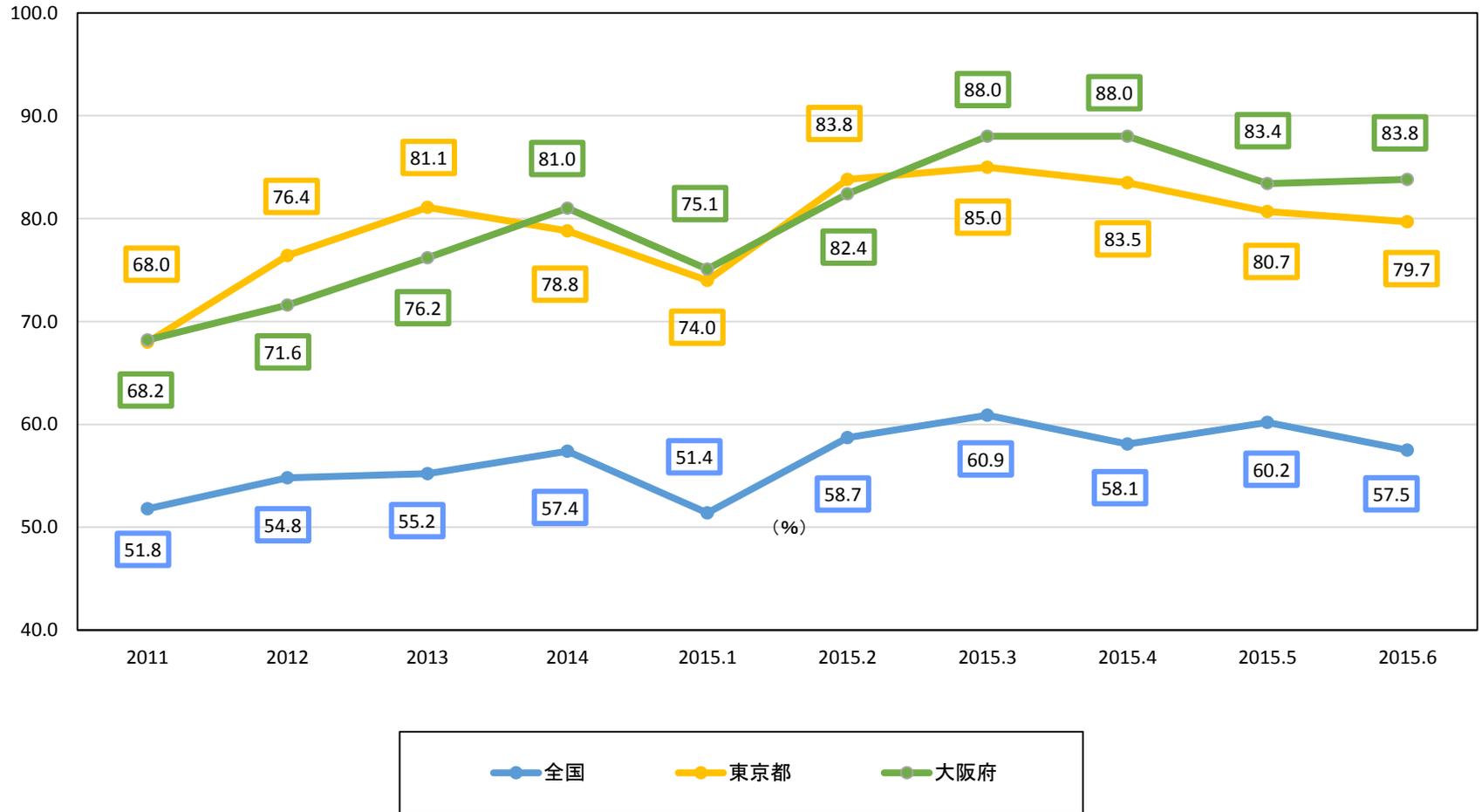
《 東京都宿泊タイプ別客室稼働率推移表 》

[単位; %]

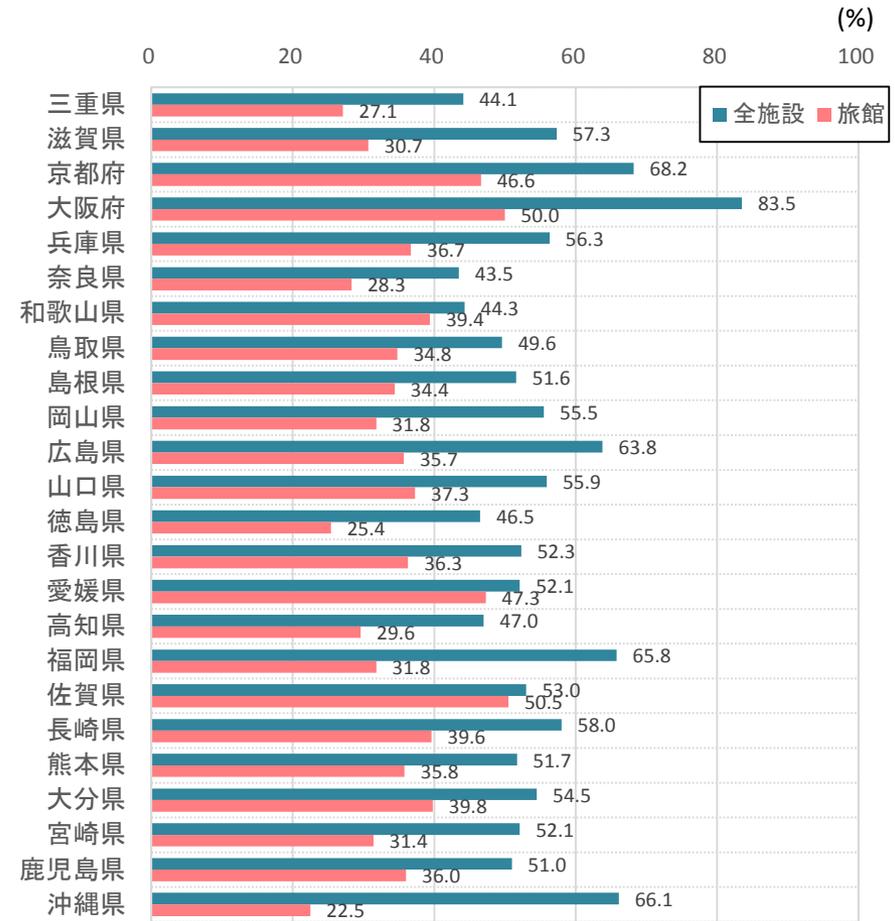
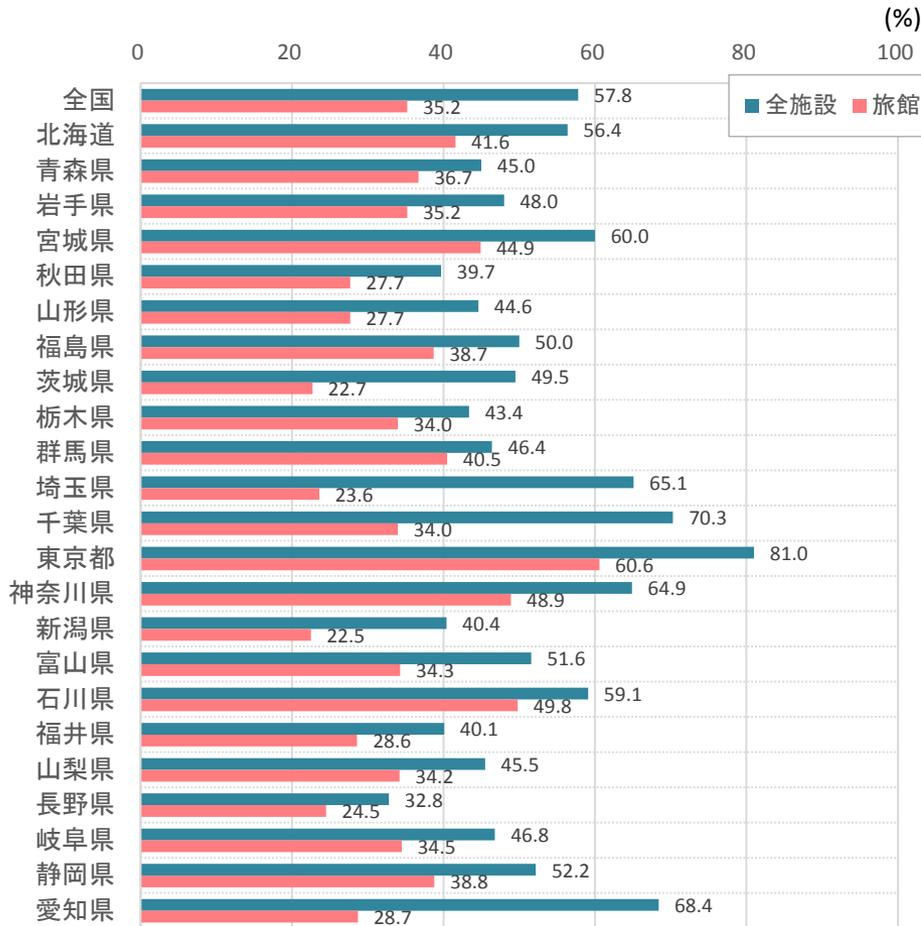
区分 \ 年次	2012	2013	2014	*2015 (12月・暫定値)	対2012比較
1.ビジネスホテル	80.0	82.7	84.2	86.7	+6.7p%
2.シティホテル	79.9	85.0	83.2	84.4	+4.5p
3.旅館	38.8	34.8	41.8	61.7	+22.9
*全体	76.4	81.1	78.8	82.8	+6.4



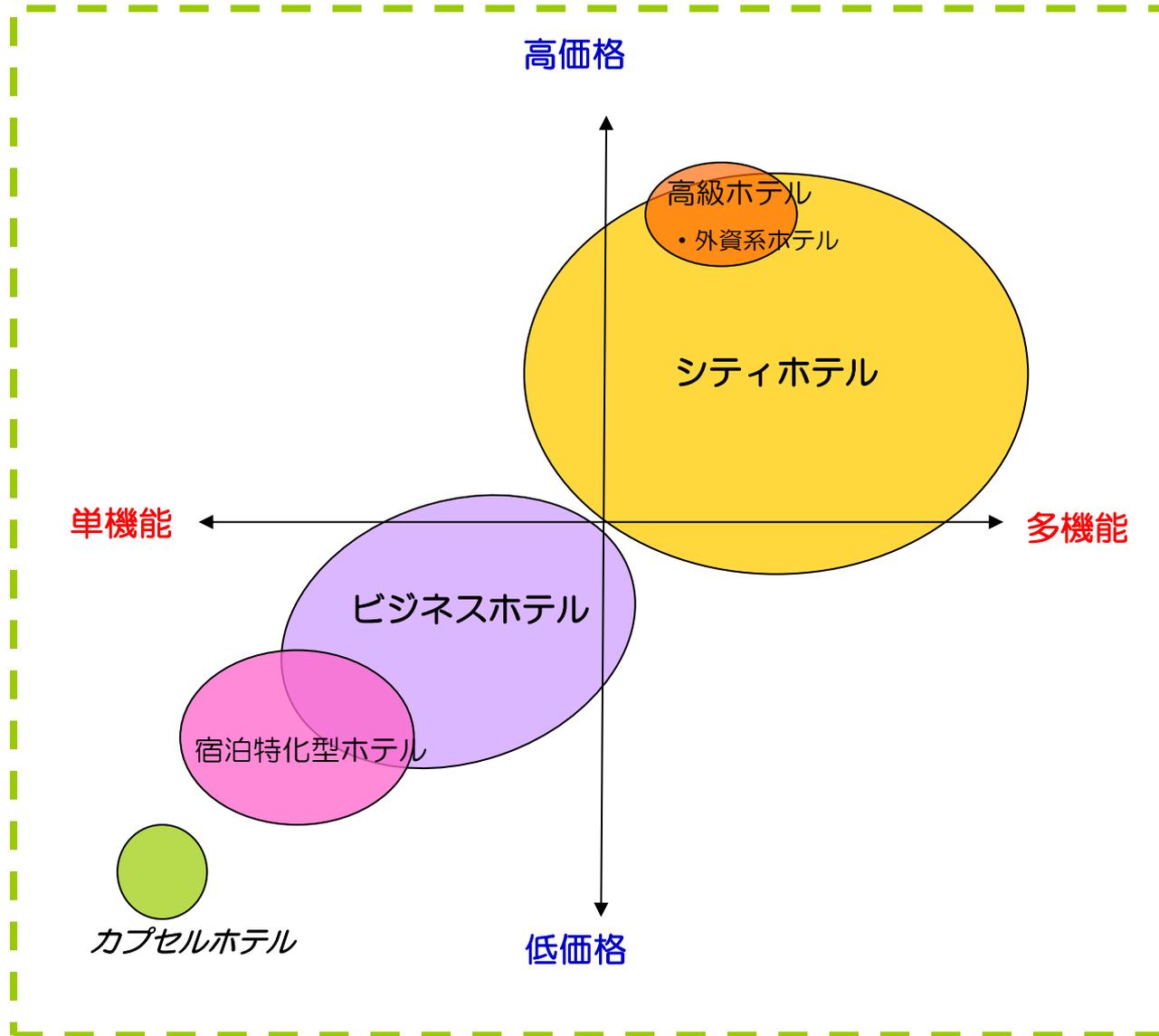
客室稼働率の推移概要



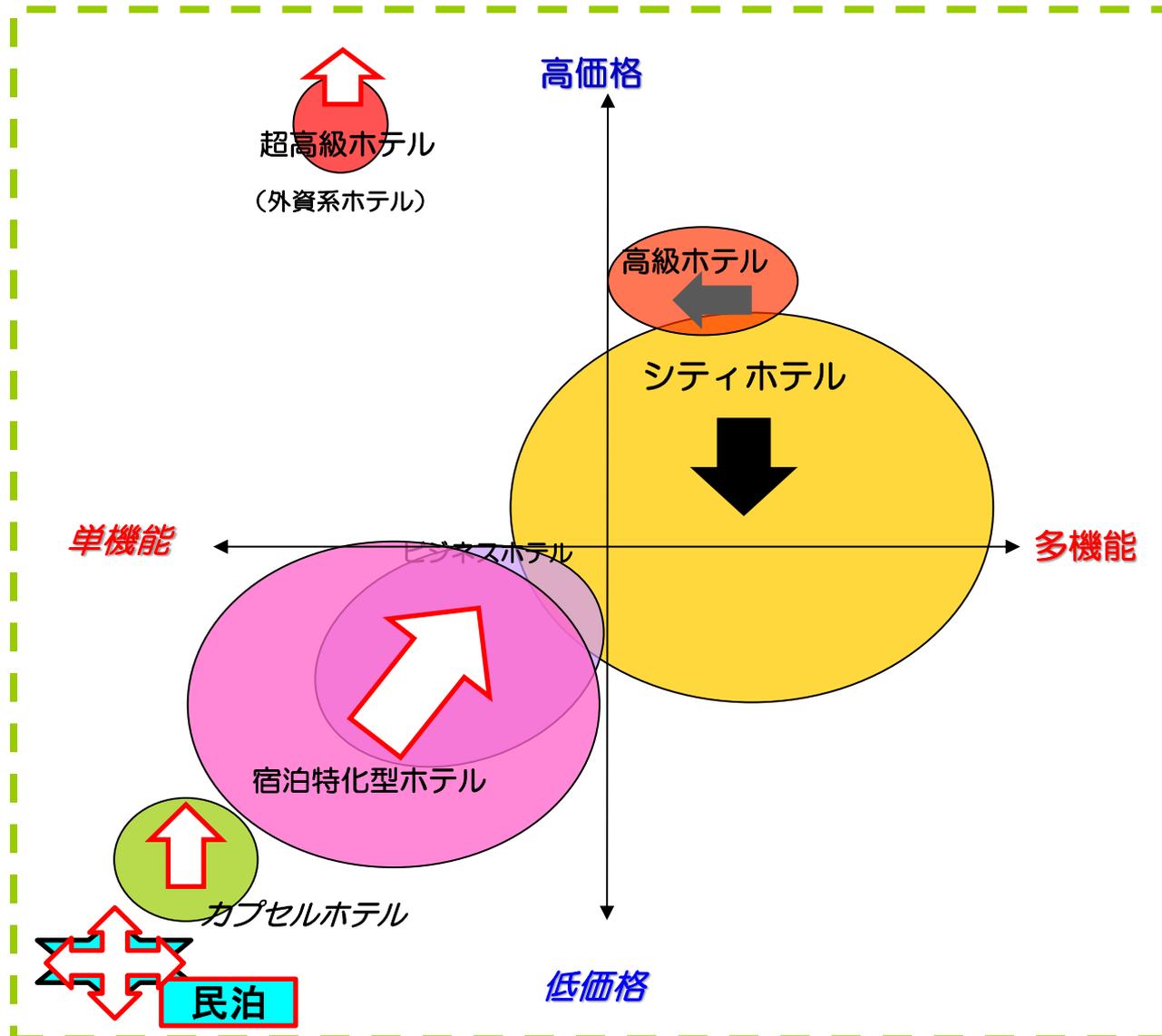
2015年1～6月の都道府県別宿泊稼働率



《 ホテル業界のポジショニングマップ・I 》



《 ホテル業界のポジショニングマップ・Ⅱ 》



190カ国超の地元の家で
暮らすように旅をしよう



Airbnb

民泊



民泊の概念

A. ホームステイ型民泊

ホスト同宿

B. 投資型民泊

投資目的
(*複数所有)

※ 農林漁業体験民宿
(農山漁村余暇法)

33㎡ > OK



大田区の条例

※ 国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業
→ 旅館業法の特例措置

1. 7日以上の滞在(6泊以上)
2. 区の立ち入り検査権
3. 周辺住民に対する苦情窓口設置

Airbnbを利用してみて

プラス

※ 実際にAirbnbを利用して、新潟県佐渡島に一件につき一泊ずつ、計二泊、宿泊した。

交流型・ホームステイ型

地方創成への有効な手段

フレキシブルで自由な旅の演出

資産の有効活用

既存の宿泊施設にはない付加価値

Airbnbを利用してみたい

マイナス

明確な評価基準がない

ホスト・ゲストの安全面

互いの人物像が不透明

連絡手段の限定

緊急時の対応

Airbnb 都内登録件数

2016年1月6日 現在 **【9,838件】**

NO	地域・区	件数
1	新宿区	1760
2	渋谷区	1695
3	港区	1062
4	台東区	673
5	豊島区	584
6	世田谷区	553
7	中央区	509
8	墨田区	365
9	目黒区	339
10	品川区	291

*	大田区	175
---	-----	-----

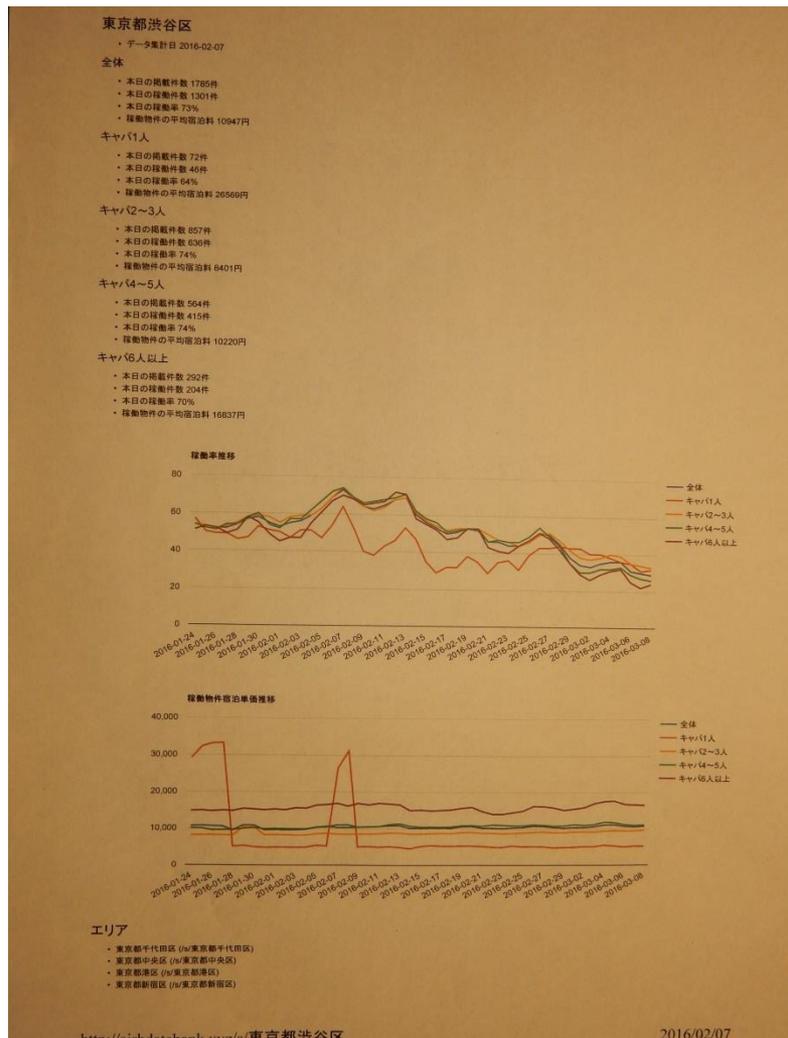
2016年1月の宿泊収容人数別稼働率・収入額比較(東京)

	全体	収容1名	収容2-3名	収容4-5名	収容6名以上
千代田区	53%	60%	49%	57%	55%
中央区	48%	35%	47%	51%	55%
港区	51%	37%	51%	53%	51%
新宿区	55%	42%	57%	56%	51%
文京区	53%	69%	55%	48%	36%
台東区	50%	39%	52%	53%	46%
墨田区	45%	39%	53%	49%	31%
江東区	59%	65%	61%	51%	53%
品川区	52%	54%	50%	57%	48%
目黒区	54%	43%	57%	54%	53%
大田区	48%	57%	47%	42%	34%
世田谷区	49%	48%	48%	53%	45%
渋谷区	58%	55%	60%	57%	52%
中野区	43%	31%	42%	45%	54%
杉並区	45%	44%	47%	48%	36%
豊島区	52%	54%	55%	51%	49%
北区	40%	36%	50%	43%	23%
荒川区	40%	51%	48%	43%	28%
板橋区	39%	35%	40%	35%	46%
練馬区	40%	33%	40%	47%	46%
足立区	42%	65%	39%	47%	37%
葛飾区	43%	51%	42%	49%	35%
江戸川区	39%	30%	37%	37%	53%
平均稼働率	48%	47%	49%	49%	44%
平均稼働日数	15	14	15	15	14
平均宿泊価格	7,866	4,203	6,433	8,749	13,505
平均Airbnb収入	116,116	60,878	97,873	132,706	184,950

エアビーを科学しよう

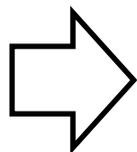
Airbnbの市況は刻々と変化するもの。

エアビーデータバンクが独自に集計した稼働率や宿泊単価をエリア別に公開中です



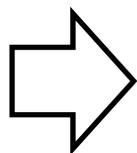
民泊における宿泊税等の課題

1. 合法か違法か・・・？（徴収の是非と徴収主体）



※世界の各都市も解釈は千差万別！！

2. 低価格への課税是非・・・？（@10,000未満）



※ビジネス・修学旅行に配慮も民泊は観光客！！

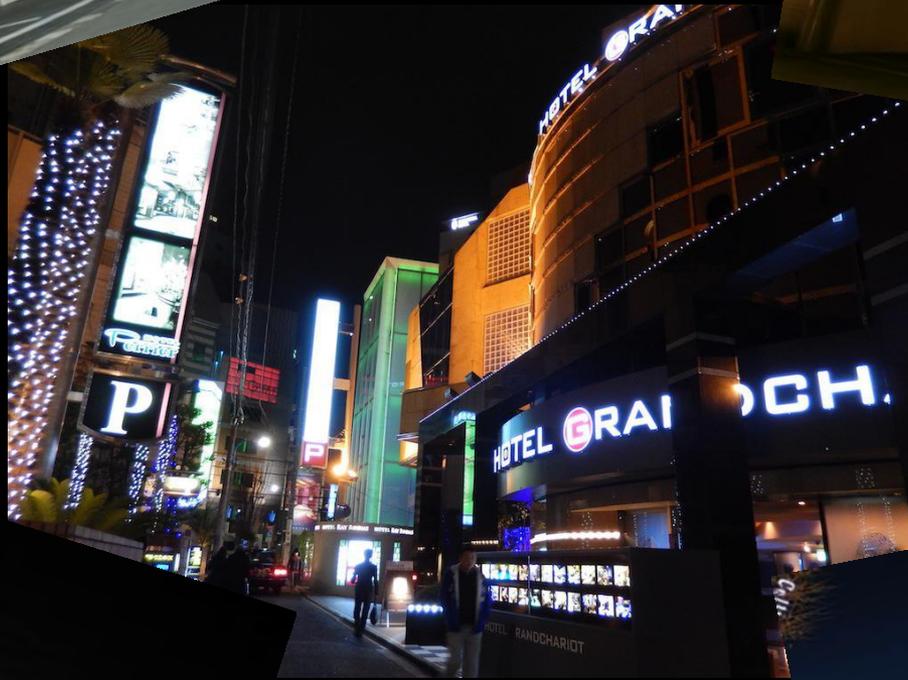


課税対象・徴収補足の実効性！！

海外における主な宿泊税等の事例

国名	アメリカ				イタリア	フランス	ドイツ
自治体名	ロサンゼルス市	サンディエゴ市	ニューヨーク市	ハワイ	ローマ	パリ	ベルリン
税名称	※TMD課税	TMD課税	ホテルユニットフィー	宿泊税	滞在税	滞在税	宿泊税
徴収対象	ロサンゼルス市内の50室以上を有するホテルの宿泊者 (*ロサンゼルスで50室以上あるホテルは約170件)	①サンディエゴ市内の30部屋以上の宿泊施設 ②サンディエゴ市内の上記以外の宿泊施設	ニューヨーク市内のホテル宿泊者、もしくは仲介業者(宿泊者が仲介業者を通して予約した場合)	宿泊施設等	11歳以上のローマに宿泊する旅行者	・18歳以上 ・パリ20区内のホテルに滞在する旅行者	ベルリンに宿泊する旅行者
税率等	宿泊料の1.5%	①宿泊料の2% ②宿泊料の0.55%	1室1泊につき 10ドル以上20ドル未満: 0.5ドル 20ドル以上30ドル未満: 1ドル 30ドル以上40ドル未満: 1.5ドル 40ドル以上: 2ドル *1ドル=124.03円 (2015.7.23現在)	朝食代金等のサービス料を除いた室料の9.25%	1人1泊につき ◆ホテル 1～2つ星ホテル: 3ユーロ 3つ星ホテル: 4ユーロ 4つ星ホテル: 6ユーロ 5つ星ホテル: 7ユーロ ◆アグリトゥーリズム(農家民泊)、レジデンス(アパート): 4ユーロ ◆B&B、バカンスハウス、部屋貸し: 3.5ユーロ ◆キャンプ場などの野外施設: 2ユーロ *1ユーロ=135.6円 (2015.7.23現在)	1人1泊につき パレスホテル: 4.4ユーロ 3つ星ホテル: 3.3ユーロ 4つ星ホテル: 2.48ユーロ 3つ星ホテル: 1.65ユーロ 2つ星ホテル: 0.99ユーロ 1つ星ホテル、B&B: 0.83ユーロ *1ユーロ=135.6円 (2015.7.23現在)	朝食代金等のサービス料を除いた室料の5%
使途	ロサンゼルスTMDでのビジネス会議や観光旅行のためのプロモーション活動に利用	サンディエゴの観光プロモーションに活用	TMDの観光開発、プロモーション等	ハワイの観光機関「ハワイ・ツーリズム・オーソリティー」を通じ、ハワイ州の観光促進に活用	宿泊施設の維持、文化財及び景観の維持・再生、それに関連する地方公共サービスの維持・再生を含む観光業への財政的支援に活用	観光プロモーション等に活用	観光振興のため、税の一部が博物館や観光名所への支援に活用
出典	・ロサンゼルス観光局HP ・LATimes HP	サンディエゴ市HP	・ニューヨーク市HP	・日本ツアーオペレーター協会HP ・ハワイ州税務局HP	・イタリア政府観光局HP ・H25文化庁「文化政策に充当する財源に関する調査研究」	・パリ観光局HP	・ベルリン市HP

※TMD・・・Tourism Marketing District. 観光マーケティング地区。地区のプロモーション活動の資金を捻出するため、地区内に立地するホテル売上額に課税する仕組み。



ご清聴ありがとうございました！！

おわり